

❖世界にひとつだけのおまもりづくり❖



今から1000年以上も昔の人たちが考えた“おまもりづくり”。

“おまもりづくり”は、①～⑦の手順で進めます。

わからないコトはお気軽にスタッフへお聞きください♪

1. “おまもり袋”と“結びヒモ”をえらびます♪

おまもり袋の様子は、同じに見えてもぜんぶ違います！

結びヒモも、手作りなので色合いやサイズ感がすべて違います！

いろいろ手にとって選んでください。

・・・★・・・ポイント・・・★・・・

正しくおまもりを作るため、袋のオモテとヒモのオモテをよく確認し、写真のように重ね合わせてから、作業を進めましょう！

・袋のオモテ

→「太郎坊宮」の金文字が目印

・ヒモのオモテ

→少しふくらんだ結び目が目印

2. “おまもり袋”に“結びヒモ”を通します♪

おまもり袋の上の部分にある2つの小穴に、ヒモを通します。

右のヒモは右の穴へ、左のヒモは左の穴へ。オモテの布からウラの布へ通してください。

・・・★・・・ポイント・・・★・・・

まずはヒモを通す穴を見つけましょう。

通すときは、ピンセットでヒモの一番先をはさんで、オモテの布に刺すように通します。

ウラの布も、おなじ方法で通しましょう！



3. “願い紙”に、お願いごとを書きます♪

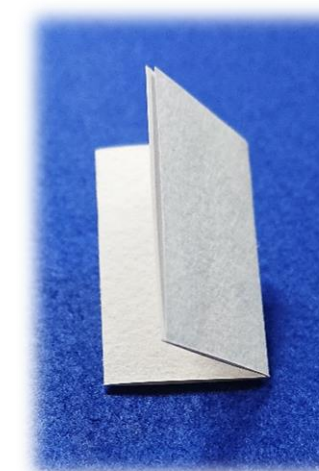
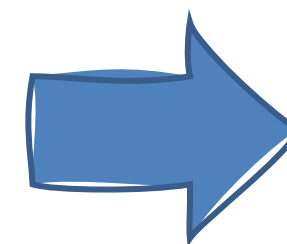
願い紙の書き方に決まりはありません。

自分が持っているお願いごとを、ていねいに書いてください。

・・・★・・・ポイント・・・★・・・

書き終わったら、内向けの四つ折りにします。

①内側へ向けて1回折ります。



②そのまま、もう1回折れば完成♪

⇒ウラに続きます

4. 神様の“みたま”と“願い紙”をおまもり袋に入れます♪

太郎坊宮の神様の御前で祈祷した“みたま”を、お渡しします。
とても大事な作業になりますので、直接ご説明します。



※スタッフをお呼びください。

・・・★・・・ポイント・・・★・・・

おまもり袋には、カタチを保つための厚紙が入っています。

“みたま”と“願い紙”を中に納めるときは、厚紙にはさみ込んで、しっかり奥まで入れてください。

納めるときは、写真のように大きくヒモをよけると入れやすいですよ！

5. ヒモを結んで、おまもりの袋をとじます♪

おまもり袋に通したヒモをウラ側で一重結びして、袋の口を閉じます。
お願いを込める気持ちで、しっかりと結んでください。

・・・★・・・ポイント・・・★・・・

一度閉じたおまもり袋は、絶対に開けてはいけません！

理由は「神様に失礼だから」「お願いごとが叶わず、消えてしまうから」です！

思いを込めて、少し強めに結びましょう！



6. カドを入れ込み、カタチをととのえる♪

おまもり袋の上部にあるカド2か所を折り込んで、カタチを整えます。

折り紙のような感じで“折り入れる”“折り込む”というイメージです。

左と右、どちらのカドも入れ込んだら、バランスが等しくなるように整えてあげてください。

・・・★・・・ポイント・・・★・・・

ピンセットを使うと、作業がしやすいです。

深めにグッと押し込むと、カタチも決まりやすいですよ！



7. ヒモをととのえて、完成♪

2本のヒモを束ね、写真のようにおだんご結びにしてまとめます。

最後にヒモの端を切りそろえて、カタチをととのえたら完成です！

お手元の紙袋に入れてお持ち帰りください♪

❖本日はありがとうございました。

あなたに太郎坊宮の神様の尊い

ご加護があるよう、お祈り申します。

またのご参拝、お待ちしております♪

